

# 平成 30 年度『全国学力・学習状況調査』

## 本校の結果概要及び改善について

秋冷の候、保護者の皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、平成 30 年 4 月 17 日(火)に、全国の 6 年生を対象に『全国学力・学習状況調査』が実施されました。本調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るとともに、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に実施しています。

本校においても 6 年生児童が調査を実施し、その結果がまとまりましたので、以下、結果の概要及び改善策についてプリントにてお知らせいたします。なお、本校のホームページにおいても、同じ内容のものを掲載しております。

本校では、「基礎学力の定着と向上」を目標に、児童の確かな「基礎的・基本的な知識・技能」を確実に身に付けさせ、これらを活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」を育成するとともに、「主体的に学習に取り組む態度」を養うことに取り組んでまいりました。今後とも、本調査における本校の結果を踏まえ、学習指導の改善・充実に邁進してまいります。

## 『全国学力・学習状況調査』調査内容

### (1)教科に関する調査

#### A 問題(主として知識:基礎的・基本的な内容)

国語……「登場人物の心情」「主語と述語の関係を意識した文書を書く」「漢字」など  
算数……「計算技能」「図形の知識」「円周率や単位量当たりの大きさ」など

#### B 問題(主として活用:知識を生かす問題)

国語……「文章を読んで自分の考えをもつ」「目的や意図に応じて文章の構成を考える」など  
算数……「グラフなどから必要な情報を選択し、問題解決にあたる」「条件を基に示された事柄が正しいことを考え記述する」など

理科……今年度実施。主として知識に関する内容と、主として活用に関する内容の問題を一体的に出題。

「川の浸食作用や電流の流れについての理解」「実験結果を分析し、考察する」  
「複数の情報を関連付けながら、分析、考察する」など

### (2)生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する質問紙調査

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「話すこと・聞くこと」

△全国平均に比べ、上回っている。

「書くこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「読むこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「伝統的な言語文化と国語の特徴に関する事項」

△全国平均に比べて上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「話すこと・聞くこと」

▼全国平均に比べて下回っている。

「書くこと」

▼全国平均に比べて下回っている。

「読むこと」

▼全国平均に比べて下回っている。

今回の調査における課題

●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

●目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。

●目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと。

改善の方向

・互いの発言の意図を理解することの大切さに気が付き、考えを広げたり、まとめたりすることができるような話し合い活動の充実。

・「推薦理由を明確に伝える」などの目的や意図に合う事例を挙げることにより、自分の考えを具体化したり、相手の理解を促すことができるかを判断したり、必要な資料を集め、適切に関係付けて書いたりする活動の充実。

・意図的に複数の本や文章を読む状況をつくり、互いの気づきを交流し、その面白さを共有していく活動の充実。

△ 全国平均に比べて上回っている。

◇ 全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや上回っている。

◆ 全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや下回っている。

▼ 全国平均に比べて下回っている。

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「数と計算」

△全国平均に比べて上回っている。

「量と測定」

◇全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「図形」

◇全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「数量関係」

△全国平均に比べて上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「数と計算」

△全国平均に比べて上回っている。

「量と測定」

◆全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「図形」

◆全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「数量関係」

△全国平均に比べて上回っている。

今回の調査における課題

●図形を見いだす際に図形の構成要素や性質を基に観察したり、判断したり、説明したりすること。

●示された情報を解釈したり、関連付けて論理的に考察したりして、条件に合う事柄について、適切に判断することができること。

改善の方向

・正多角形の内角や外角の大きさに等について敷き詰め等の活動を通して性質を見だしたりする指導の工夫。

・複数の情報を関連付けて論理的に考察し、判断の理由を説明する活動の充実。

△ 全国平均に比べて上回っている。

◇ 全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや上回っている。

◆ 全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや下回っている。

▼ 全国平均に比べて下回っている。

本校の概要

【領域】

「物質（粒子）」

◇全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「エネルギー」

◇全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「生命」

◆全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「地球」

◆全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

●人の腕が曲がる仕組みを模型に適用すること。

●より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述すること。

●実験結果を基に分析し、問題に正対したまとめができるようにすること。

改善の方向

・主体的な問題解決の活動を通して獲得した知識を、自然や日常生活などの他の場面に適応して考える際、図や模型等を用いる等の学習の場の工夫。

・目的に合わせた観察・実験を位置付け、得られた結果を基に「事実」と「解釈」を示しながら、自然の物事・現象を科学的な言葉で説明するなどの活動の充実。

・問題を確認し、実験などで得られた結果を根拠として考察を行い、実験結果から言えることだけに言及した内容になるような学習活動の工夫。

△ 全国平均に比べて上回っている。

◇ 全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや上回っている。

◆ 全国平均に比べてほぼ同程度であるが、やや下回っている。

▼ 全国平均に比べて下回っている。

## 学習状況調査・質問紙調査の結果から

本校の6学年児童の学校や生活の様子について調査した結果を全国の6学年児童と比較した状況を、抜粋して掲載しています。

### 学習面の質問事項から

- △「家で学校の宿題をしていますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国より高い。
- 「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国と同程度。
- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国と同程度。
- 「観察や実験を行うことは好きですか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国と同程度。
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国と同程度。
- ▼「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国より低い。
- ▼「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国より低い。

### 生活面の質問事項から

- 「自分には、よいところがあると思いますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国と同程度。
- 「将来の夢や希望をもっていますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国と同程度。
- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国と同程度。
- △「朝食を毎日食べていますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国より高い。
- 「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国と同程度。
- ▼「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国より低い。
- ▼「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合は、全国より低い。

学習面では、授業の予習や復習を行い、授業に臨んでいる子どもの割合が高いことが挙げられます。また、宿題については、きちんと行う習慣が身に付いていることが挙げられます。その反面、学校で学んだことを日常の生活にも生かしていこうとしたり、日常生活とのつながりを意識したりする子どもの割合が低い傾向が見られました。学校の授業の中で、日常とのつながりを意識した取組を行っていく必要があると考えます。

生活面では、自分の自信を様々な分野へも生かしていけるような働きかけが必要だと感じました。身近である地域とのつながりの中に子どもたちのよさが生かせるような取組を再度確認していく必要があると考えます。